

県外派遣報告書

審判員名	立花 正司	所属	中体連		
大会名	第44回関東中学校バスケットボール大会				
期間	平成26年8月8日(金)～10日(日)				
会場	大田区総合体育館 / 大森スポーツセンター				
スケジュール					
期 日	内 容	場 所			
8月8日(金)	審判会議 / 審判ミーティング / 1回戦	大田区総合体育館・大森スポーツセンター			
8月9日(土)	2回戦 / 準々決勝	大田区総合体育館・大森スポーツセンター			
8月10日(日)	レクチャー / 準決勝 / 決勝	大田区総合体育館			
会議 講義 内容					
<p>①関東指名審判:星野氏「ステップアップを経て考えること」 変化したもの…レベル、カテゴリ、責任、緊張感。 変化させる必要があったもの…コート上で考える事の広さや深さ。変化させてはいけないもの…自分の良さ、信念。目の前の小さな事を一つ一つ大切にすること。足を固めていけば必ずステップアップできる。明確な目標を持つことが行動の原動力になる。信念を大切に。というお話を頂いた。</p> <p>②関東指名審判:大庭氏「ランクアップのために」他人からの評価を得ることに走らないこと、自分の芯が大切。どんなゲームに割り当てられても、何の問題やトラブルもなく終わりたい、シンプルだが目の前の一試合一試合をきちんと吹き続けるというその信念がランクアップにつながる、憧れを持ち、使命感を持って日々精進すること、そして「絶対になるという意思が不可欠」というお話を頂いた。</p> <p>③安西審判長「より良い判定のために・その2」具体的な二人の協力や、それぞれの仕事の責任、プレカンファレンスでの内容、審判員としてあるべき心構えや考え方などをレクチャーして頂いた。</p>					
実技					
担当試合	期 日	8月8日(金)	女子	一回戦	
	対戦カード	烏山(東京)	VS	坂本(神奈川)	副審
	相手審判	武藤 陽子 氏 (茨城)			
ミーティング内容		主任 佐藤 弘之 氏 (群馬)			
<p>全体としては、非常に緊迫したゲームの中ではあったが、落ち着いて確実な笛を吹けているように見えた。両チームのファウルの数、ベンチの様子把握など、やはり主審がしっかりとコントロールしていた。今後は、自分が主審になったときにも、このようなゲーム全体の把握が出来る審判員になってほしい。動きとしては、意図を持って見に行っていることがわかるし、確実に現場をとらえることが出来ているので好感を持てる。ただし、早い展開になると「次の予測」だけでなく「次の次」までイメージして、あえてステイしてワイドに見る方がよい場面もある。今日のゲームでは、そこまでの展開がほとんどなかったため今回はグッドだったが、見方として、そういった考えを頭に入れて、今後トライしていくと、きっと次のステップにあがれる。</p>					
担当試合	期 日	8月9日(土)	男子	二回戦	
	対戦カード	実践学園(東京)	VS	長野郷(群馬)	副審
	相手審判	秋山 知洋 氏 (山梨)			
ミーティング内容		主任 伊藤 亮介 氏 (東京)			
<p>①全体としては、ポストアップの瞬間の手や後方からのリバウンドがこのゲームのポイントだったが、そこをきちんと整理していたので、はじまりから終わりまで、ゲームとしては審判の仕事がしっかりとできており、チームや選手が良いバスケットが出来ていた。</p> <p>②そこで何かがあったわけではないが、審判の動きとしては、ゲームの流れを読むと、今回はポストにボールは入っても、どちらかと言えば1on1よりも、ポストフィードからの合わせが多かったため、リードでアングルよりも右側にあえて行かず、トレールに任せ、逆サイドのプレイをリードとしてとらえておき、リバウンドや合わせに備えるという協力があると良かった。</p> <p>③今後に向けて、ファウルをひとつ吹くにも、全体への伝わり方をもっと意識しなければならない。選手との距離や、目線、間、など、あえてゆっくりしたり、鋭く強したり、今後に向けて、上級のいろいろな場面での全体への示し方を研究すると今後のステップアップにつながっていく。また、一試合の中でフォーカスの絞り方を変化させるトライもしてみると良い、きっと今以上に予測できるようになる。</p>					
全体の感想					
<p>今回、初めて関東中学の派遣を頂き、多くの場面でステップアップにつながるためのご指導をいただき、素直に「もっと力をつけたい」という気持ちがとても強くなりました。ゲーム開始前は、自分でも不思議でしたが思った以上に落ち着いてコートに立つ事が出来ました。プレカンファレンスの重要性、日頃から県でのご指導いただいている一試合一試合に対する責任の重さの意味を改めて感じました。日頃からそういう精神状態で目の前の試合に向き合うことを教わってきたから、ステージが変わっても、きちんとバスケットに集中できたのだと感じました。ゲームでは、「ひとつひとつの笛に責任を持ち、誠実に取り組む姿勢を今後ずっと貫き芯とすること」、「ゲームの流れを読み、オトマチックに頑張ること以外にも対応の幅を広げること、二人の協力で運営していく事への思考を深めること」、「1ゲームの中でフォーカスを変化させる」、「全体への説明責任」、「審判員の立ち居振る舞いひとつで変化する周囲への影響を研究すること」が今後に向けての課題だと感じました。</p> <p>東京都の皆様には、細部にまでご配慮を頂き、ありがとうございました。また、今回このような貴重な機会を下さいました皆様、また沢山のご指導を頂きました皆様に、心より感謝申し上げます。これまで以上に努力して、必ず「あなたに吹いてもらえて良かった」と言ってもらえるような信頼される審判になろうと決意を新たにしました。審判として力をつけ、バスケットを大好きな人たちのために貢献していけるよう今後もひとつひとつを誠実に取り組んでいきたいと思っております。ありがとうございました。</p>					